Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : アジェンダMC/Agenda MC

製品コード : Article/SKU:79907664 UVP:6042766 Specification:

102000015723

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : Environmental Science Japan K.K.

エンバイロサイエンスジャパン株式会社

1-6-1 Otemachi, Chiyoda

住所 : 東京都千代田区大手町一丁目 6 番 1 号

Tokyo, Japan

電話番号 : 03-4570-8758

電子メールアドレス : johji. ohdake@envu. com

緊急連絡電話番号 : +65 3163 8374

Toll Free: 0800-300-5842

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺虫剤

使用上の制限 : 非該当



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

2. 危険有害性の要約 化学品の GHS 分類

爆発物 : 分類できない

可燃性ガス : 区分に該当しない

エアゾール : 区分に該当しない

酸化性ガス : 区分に該当しない

高圧ガス : 区分に該当しない

引火性液体 : 区分に該当しない

可燃性固体 : 区分に該当しない

自己反応性化学品 : 分類できない

自然発火性液体 : 区分に該当しない

自然発火性固体 : 区分に該当しない

自己発熱性化学品 : 分類できない

水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない

酸化性液体 : 分類できない

酸化性固体 : 区分に該当しない

有機過酸化物 こ 区分に該当しない

金属腐食性物質 : 分類できない

鈍性化爆発物 : 区分に該当しない

急性毒性(経口) : 区分に該当しない

急性毒性(経皮) : 区分に該当しない

版番号 **安全データシート**

アジェンダMC



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

急性毒性(吸入ーガス) こ 区分に該当しない

急性毒性(吸入-蒸気) : 分類できない

急性毒性(吸入一粉じん及び : 区分に該当しない

ミスト)

皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼 : 区分に該当しない

刺激性

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分に該当しない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく : 区分2(神経系)

露)

特定標的臓器毒性(反復ばく : 区分2(神経系)

露)

誤えん有害性 : 分類できない

水生環境有害性 短期(急 : 区分1

性)

水生環境有害性 長期(慢 : 区分2

性)

オゾン層への有害性 : 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : 警告



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

危険有害性情報 : H371 神経系の障害のおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による神経系の障害のお

それ。

H400 水生生物に非常に強い毒性。

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き 安全対策:

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しな

いこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこ

ہ ط

P273 環境への放出を避けること。

P264 取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよ

く洗うこと。

応急措置:

P391 漏出物を回収すること。

P308 + P311 + P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合:

医師に連絡して、診察/手当てを受けること。

P321 特別な処置が必要である(「4. 応急措置」参照)。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 国および地方自治体(都道府県市町村)の規則に従っ

て、内容物/容器を適切に廃棄すること。

追加ラベル

以下の割合でこの混合物を構成する成分は、急性吸入毒性が未知である: 22 %

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名称	CAS 番号	濃度(%)	化審法番号	安衛法番号
5-アミノー1-[2, 6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]- 1 H -ピラゾール-3-カルボニトリル (一般名: フィプロニル)	120068-37-3	2. 0	(5) -6414	8-(2)-1663
その他	非開示	残部	非開示	非開示



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量(% w/w)
5-アミノー1-[2,6-ジクロロー4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノー4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール	120068-37-3	2. 0
エチレンク゛リコール	107-21-1	0. 43 以下

4. 応急処置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させるこ

ہ ط

呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。 呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。

口対口法を用いてはならない。 鼻、口、喉を水でゆすぐ。 体を毛布などで覆い、保温する。

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう

頭部を下げる。

物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観

察をする必要がある。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。

直ちに汚染された服と靴を取り除く/脱ぐ。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当

てを受けること。

眼に入った場合 : 眼を擦ってはならない。

まぶたを開いた状態に保つ。

できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこ

と。その後も洗浄を続けること。

必要があれば医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口を水で十分にゆすぎ、意識を失っていない場合は多量の牛

乳または水を飲ませる。

意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させるこ

ہ ع

体を毛布などで覆い、保温する。

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう

頭部を下げる。

アジェンダMC

Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。 呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。

口対口法を用いてはならない。

物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観

察をする必要がある。

応急措置をする者の保護 、 救助の際は保護具を着用する(「8. ばく露防止及び保護措

置」を参照)。

医師に対する特別な注意事項 : 急性中毒の際の痙攣症状に対する対症療法としてフェノバル

ビタールの投与が有効である。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末消火剤

泡消火剤 乾燥砂

使ってはならない消火剤 : 棒状水

特有の危険有害性 : 漏出すると火災・爆発の危険性がある。

可燃物を発火させるおそれがある。

混触危険物質と接触すると火災や爆発の危険性がある。

外部火災の熱によって、容器内で急激に分解して、容器の破

裂に至るおそれがある。

混触危険物質(「10. 安定性及び反応性」参照)に留意し

て、適切な冷却手段にて容器を冷却する。

燃焼ガスおよび/または分解ガスには、刺激性、腐食性および

/または毒性のガスが含まれるおそれがある。

火災の際は有害なガス (「10. 安定性及び反応性」参照) が 発生し、めまいや窒息や健康被害を引き起こすおそれがあ

る。

消火水中に有害物が含まれ、環境や生物に影響を与えること

がある。

特有の消火方法 : 危険でなければ漏れを止める。

火災がとめられない場合は、火災の拡大・類焼を防止するためにできません。

めに噴霧散水により冷却しながら燃焼させたままにする。

風上から作業する。

安全な場所から消火する。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

大規模火災で大量にある場合:区域より退避させ、十分に離

れた距離から消火すること。

周辺の他の未燃可燃物の防護:可能かつ安全ならば、容器を

移動させるか、散水などで冷却する。

外部火災からの製品防護:可能かつ必要がある場合は、製品

の入った容器を安全な場所に移動させ、容器または周辺設備

を水等で冷却する。



Ver. 2. 0 改定日:2024/2/1 発行日: 2024/3/27

消火剤で表面を覆い窒息消火する。

消火に用いた水は堰を作って囲い、環境に配慮した上で廃棄

する。物質がちらばらないようにする。

: 各国、地域で規定された標準の全身保護衣および空気式呼吸 消火を行う者の保護

器(SCBA)を着用する。

防護面、ヘルメット、手袋を含む耐炎性防火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 : 人体に対する注意事項

具及び緊急時措置

適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」参照)を着 用して、飛沫等の眼または皮膚への付着や、ミストまたは蒸

気の吸入をしないようにする。

緊急処置

風下の人を退避させ、風上から作業する。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

周辺環境に、影響(健康被害を含む)を及ぼすおそれがある

場合は、周辺の居住者に警告する。

付近の着火源となるものを、直ちに取り除く。

大きな安全地帯を設定する。

大量漏出の場合、蒸気を抑えるために泡を使用する。

大量の場合、噴霧散水は蒸気濃度低減に有効なことがある。

二次災害の防止策

全ての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電等)を取り

適切な消火剤を準備する(「5.火災時の措置」を参照)。 排水溝、下水溝、地下室、くぼ地あるいは閉鎖場所への流入

を防ぐ。

環境に対する注意事項 : 環境中に放出しないこと。

漏出物が水系(河川や下水など)に流入して環境への影響を

起こさないように、堤を作って堰止める。

封じ込め及び浄化の方法及び : 速やかに回収する。

機材

危険でなければ漏れを止める。

広がらないように堰を作り、後で廃棄する。

残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ、安全な場

所に移す。

適切な吸収材に吸収させて回収する作業を繰り返し、全量を

回収する。

製品が高温で引火の恐れがある場合、防爆型の電気機器/換気

装置/照明設備/装置を使用すること。

全ての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電等)を取り

除く。

可燃物を漏出物から隔離する。



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

漏洩または漏出物を回収する場合は、専門家のアドバイスを 求める。

残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。

回収作業は、安全取扱い(「7. 取扱い及び保管上の注意」

参照)措置をしたうえで実施すること。 廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ここをでの着火源を取り除く。

製品が高温で引火の恐れがある場合、静電気対策(アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされ

た導電性床の採用等)を講じる。

製品が高温で引火の恐れがある場合、防爆型の電気機器/換気

装置/照明設備/装置を使用すること。

ミストの発生を防止する。

漏洩ばく露に備えて、風上から作業する。

噴霧するなどしてミストが発生する場合は、裸火や高温など

の着火源から遠ざける。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 設備対策を行い、保護具を着用する(「8. ばく露防止及び

保護措置」参照)。

ミスト/蒸気を吸入しないこと。

眼や口に入れない、また皮膚に付けない。

眼、皮膚、衣服への接触を避ける。

休憩場所には、汚染された保護具を持ち込まないこと。

皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らない様に適切な保護具を着

用する。

可能な限り、使い捨ての保護衣を着用する。

汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用

すること。

汚染された保護衣は安全な方法で廃棄すること。

局所排気、全体換気 : 局所排気および/または全体換気を行う。

安全取扱注意事項 : 混触危険物質(「10.安定性及び反応性」参照)から離して

おく。

衛生対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

密閉系で取り扱えない場合は、屋外または換気の良い場所で

のみ使用すること。

本製品を吸入してはならない。

ヒトへのあらゆるばく露を避けること。

眼や口に入れない、また皮膚に付けない。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用

すること。

汚染された保護具、作業衣等を処分する際は、周辺環境を汚



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

染することがないように適切な方法を用いること。

取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗

うこと。

保管

安全な保管条件 保管場所には、必要な採光または照明および換気の設備を設

ける。

施錠して保管すること。

製品が高温で引火の恐れがある場合、静電気対策(アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされ

た導電性床の採用等)を講じる。

製品が高温で引火の恐れがある場合、容器を接地すること/ア

一スをとること。

食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

暗所に保管すること。

冷所に保管。

換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉しておくこと。

排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。

「10. 安定性及び反応性」を参照。

安全な容器包装材料 : 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標(ばく露 形態)	管理濃度 / 基準 濃度 / 許容濃度	出典
エチレンク゛リコール	107-21-1	TWA (蒸気)	25 ppm	ACGIH
		STEL(蒸気)	50 ppm	ACGIH
		STEL(吸入濃	10 mg/m^3	ACGIH
		度、エアロゾ		
		ルのみ)		

を使用する。

取扱場所に、手洗い設備、洗身洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具 ・ 呼吸用保護具は、適切な保護具を使用する。

緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式

酸素呼吸器(SCBA)を着用する。

手の保護具 : 手の保護具は、適切な保護具を使用する。

不浸透性保護手袋

眼の保護具は、適切な保護具を使用する。

安全ゴーグルまたは保護眼鏡と防災面

皮膚及び身体の保護具 : 個人用保護具(PPE)は、適切な保護具を使用する。

帽子、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

版番号 **安全データシート**

アジェンダMC



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粘稠懸濁液体

色: 類白色臭い: 微臭性融点/凝固点: データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし

値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし

値

引火点 : 引火せず (80℃)

方法:タグ密閉式

データなし(試験中にサンプルから生じた不燃性蒸気によっ

て試験炎が消炎した)

方法:クリーブランド開放式

分解温度 : データなし

pH : 5 - 8

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : データなし

粘度

動粘度(動粘性率) : データなし

溶解度

水溶性 : データなし

溶媒に対する溶解性 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

(log 値)

蒸気圧 : データなし

版番号 **安全データシート**

アジェンダMC



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

密度及び/又は相対密度

比重 : データなし

密度 : データなし

相対ガス密度 : データなし

粒子特性

粒子サイズ : データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。

危険有害反応可能性 : ミストは、温度によらず空気と爆発性混合物を形成するおそ

れがある。 還元剤 可燃性物質

: 激しく反応するおそれ

: 火災や爆発のおそれ

酸化剤酸

: 火災、爆発、および有毒ガスの発生のおそれ

次亜塩素酸塩類

: 熱的衝撃および/または機械的衝撃などで容易に分解する不

安定物質を生成するおそれ

避けるべき条件 : 裸火

機電溶加高静水火火水 表気:

混触危険物質 : 可燃性物質

酸 塩基

次亜塩素酸塩類

還元剤 酸化剤



アジェンダMC

Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

二酸化炭素 炭化水素 すす 窒素酸化物 アンモニア

ア硫塩塩フフシンンサースででは大きでは大きのでは、アンガーのでは、アンガーのでは、アンガーのでは、アンガーのでは、アンガーのでは、アヤイのでは、アヤイのでは、アヤイのでは、アヤイのでは、アヤイのでは、ア

無機成分を含む微粒子が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情 : 経口

報

吸入 経皮 眼

急性毒性

製品:

急性毒性(経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

標的臓器:特定標的臓器は認められない。

備考:毒性データは類似組成の製品を参照したものである。

急性毒性(吸入) : ATEmix: 17.8 mg/l

方法: 計算値

急性毒性(経皮): LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

標的臓器:特定標的臓器は認められない。

備考:毒性データは類似組成の製品を参照したものである。

成分:

フィフ゜ロニル:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 97 mg/kg

標的臓器: 神経系

急性毒性(吸入) : LC50 (ラット): 0.68 mg/l

ばく露時間: 4 h 標的臓器: 神経系

備考: 粉じん、ミストおよび煙

急性毒性(経皮) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

標的臓器:利用可能な情報に基づく限り分類できない。

アジェンダMC

Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

成分:

フィフ゜ロニル:

急性毒性(経口) : LD50 (ラット): 97 mg/kg

標的臓器:神経系

急性毒性(吸入) : LC50 (ラット): 0.68 mg/l

ばく露時間: 4 h 標的臓器: 神経系

備考:粉じん、ミストおよび煙

急性毒性(経皮) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

標的臓器:利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚腐食性/刺激性

製品:

種 : ウサギ 結果 : 刺激性なし

成分:

フィフ゜ロニル:

種 : ウサギ 結果 : 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

種 : ウサギ

結果 : ごく軽度の刺激性あり

備考 : 毒性データは類似組成の製品を参照したものである。

成分:

フィフ゜ロニル:

種 : ウサギ 結果 : 刺激性なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

試験タイプ: 皮膚感作性種: モルモット方法: ビューラー法結果: 感作性なし

版番号

安全データシート



アジェンダMC

Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

備考 : 毒性データは類似組成の製品を参照したものである。

成分:

フィフ゜ロニル:

試験タイプ: 皮膚感作性種: モルモット

方法 : マキシマイゼーション法

結果 : 感作性なし

生殖細胞変異原性

製品:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: データなし

in vivo での遺伝毒性 : 備考: データなし

成分:

フィフ゜ロニル:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験

結果: 陰性

試験タイプ: 染色体異常試験

結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 小核試験

種:マウス 細胞型:骨髄

結果: 陰性

発がん性

製品:

備考 : データなし

成分:

フィフ゜ロニル:

種 : ラット

方法: 発がん性試験結果: 発がん性なし

種 : マウス

方法: 発がん性試験結果: 発がん性なし

版番号

安全データシート

アジェンダMC

改定日:2024/2/1 Ver. 2. 0 発行日: 2024/3/27

生殖毒性

製品:

: 備考: データなし 妊娠に対する影響

胎児の発育への影響 : 備考: データなし

成分:

フィフ゜ロニル:

: 種: ラット 妊娠に対する影響

> 方法: 2世代繁殖毒性試験 結果: 繁殖性に影響なし

胎児の発育への影響 : 種:ラット

> 方法: 催奇形性試験 結果: 催奇形性なし

種: ウサギ

方法: 催奇形性試験 結果: 催奇形性なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

急性毒性(「11.有害性情報」)を参照

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

製品:

: データなし 備考

成分:

フィフ゜ロニル:

種 : ラット

方法 : 90 日間反復投与毒性試験

標的臓器 : 肝臓. 甲状腺

種 : イヌ

方法 : 90 日間反復投与毒性試験

: 神経系 標的臟器

誤えん有害性

製品:

データなし

アジェンダMC

改定日:2024/2/1 Ver. 2. 0 発行日: 2024/3/27

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 LC50 (コイ): 750 mg/l

ばく露時間: 96 hrs

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (オオミジンコ): 0.034 mg/I

ばく露時間: 48 hrs に対する毒性

藻類に対する毒性 : 備考: データなし

魚毒性 (慢性毒性) : 備考: データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 備考: データなし

に対する毒性(慢性毒性)

成分:

フィフ゜ロニル:

魚毒性 : LC50 (ニジマス): 0.25 mg/l

ばく露時間: 96 hrs

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (オオミジンコ): 0.190 mg/l

に対する毒性 ばく露時間: 48 hrs

藻類に対する毒性 : ErC50 (藻類): 0.074 mg/l

ばく露時間: 72 hrs

EC50 (緑藻): 0.068 mg/l

ばく露時間: 96 hrs

残留性・分解性

生分解性 : 備考: データなし

生体蓄積性

生体蓄積性 : 備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

アジェンダMC

Ver. 2. 0 改定日:2024/2/1 発行日: 2024/3/27

オゾン層への有害性

オゾン層破壊係数 : 国際規制: UNEP - オゾン層を破壊する物質に関するモントリ

オール議定書のためのハンドブック

備考:リストに掲載なし

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

国および地方自治体(都道府県市町村)の規則に従って、内

容物/容器を適切に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

: UN 3082 国連番号 (UN number)

国連輸送名 (Proper ship- : 環境有害物質、液体、N.O.S. (フィプロニル混合物)

ping name)

国連分類 (Class) : 9 容器等級 (Packing group) : !!! ラベル (Labels)

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3082

国連輸送名 (Proper ship- : 環境有害物質、液体、N.O.S. (フィプロニル混合物)

ping name)

国連分類(Class) 容器等級(Packing group) : !!!

: Miscellaneous ラベル (Labels)

梱包指示(貨物機) (Pack- : 964

ing instruction (cargo

aircraft))

梱包指示(旅客機)(Pack-: 964

ing instruction (passenger

aircraft))

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3082 国連輸送名 (Proper ship- : 環境有害物質、液体、N. O. S. (フィプロニル混合物)

ping name)

: 9 国連分類(Class) 容器等級 (Packing group) : III



アジェンダMC

Ver. 2. 0 改定日:2024/2/1 発行日: 2024/3/27

ラベル (Labels) : 9

: F-A. S-F EmS ⊐ − F (EmS Code) 海洋汚染物質(該当・非該当) : 該当

(Marine pollutant)

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当) 供給された状態の製品には非該当。

緊急時応急措置指針番号

171

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確

実に行う。

車輌、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、

緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのためで、本安全データシートの中で解説さ れるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサ イズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名

エチレングリコール

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2(施行令別表第9)*1

化学名	含有量(%)*2	備考
5-アミノー1-[2,6-ジクロロー4-(トリフルオロメチル)フェニル] -3-シアノー4-[(トリフルオロメ チル)スルフィニル]ピラゾール(別名フィプロニル)	>=1 - <10	2025 年 4 月 1 日以降

^{*1 2025} 年 4 月 1 日以降、法第 57 条の 2 (規則別表第 2)

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条(施行令別表第9)*1

化学名	備考
5-アミノー1-[2,6-ジクロロー4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノー4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール(別名フィプロニル)	2025 年 4 月 1 日以降

^{*1 2025} 年 4 月 1 日以降、法第 57 条 (規則別表第 2)

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一(危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

化学名

5-アミノー1- [2, 6-ジクロロー4- (トリフルオロメチル) フェニル]-3-シアノー4- [(トリフルオロメチル) スルフィニル] ピラゾール

^{*2} 当該成分の含有量組成範囲(製品の組成の振れ幅)を示すものではなく、含有量の上限値がどの範囲に入るかを示している。



Ver. 2. 0 改定日: 2024/2/1 発行日: 2024/3/27

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2,3条危険物告示別表第1:有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

個品輸送 : 海洋汚染物質

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

水質汚濁防止法

指定物質(法第2条4項、施行令第3条の3)

有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)(シアン化合物)(ふっ素及びその化合物)

下水道法

水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)(シアン化合物)(ふっ素及びその化合物)

土壤污染対策法

特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)(シアン化合物)(ふっ素及びその化合物)

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101)(フッ素及びその化合物)

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

この安全データシートは以下の製品製造会社の安全データシートに従って作成した。

製品製造会社:住友化学株式会社